

第4回 課題研究特別講座「ルーブリックを作ろう！！」

実施日時：2022年3月7日（月）4校時

★ 目的（赤字は今回追加）

- ① ルーブリックの作成を通して、《良い研究および発表》とは何かを明らかにする。
- ② 研究活動に主体的・自主的・自発的に取り組めるようとする。
- ③ 実際に《良い研究および発表》を行えるようになる。
- ④ 大学での研究でも活用できるルーブリックを作成する。

★ ルーブリックとは・・・学習到達度（知識、能力）を測るための評価方法の一つ。 複数の評価項目から構成される。

1. 【各自】でルーブリック表面（「テーマ設定」～「取組状況」欄）の更新（計10分）

2. 【各自】で「研究発表」について検討・考察（計15分）

- ① 「優れている」または「劣っている」と思う研究発表を、1文で思い付く限りこの用紙の裏面に記述する。（10分）
- ② 精選（内容的、文章的）して付箋に記入する。（⇒ 3の素材となる。）（5分）

3. 【グループ】でルーブリック裏面（「研究発表」欄）の検討・記入（計30分）

- ① 《KJ法》グループで2の結果を分類し、それぞれを「評価観点」、「評価尺度」に分ける。（20分）
- ② 「研究発表」欄に記入する。（10分）

4. 【各自】3の結果についての他グループの発表（3グループ前後）を聞き、採り入れたい内容等をメモする。（10分）

5. 【各自】4を参考に、「研究発表」欄について再検討&改訂。（5分）

6. 【各自】で自己採点表を記入する（提出不要）。（10分）

作成したルーブリックに基づき、自分が行った課題研究の自己採点（A,B,C）および総合評価を行う。

7. アンケートに回答する。（5分）



8. 【宿題】

- ① ルーブリックに各自の「評価観点」や「評価尺度」等も加筆して、明後日3/9（水）までに担任に提出。後日返却します。
- ② アンケートに回答。

《連絡事項》

ルーブリックは、課題研究II（3年生希望者）や大学での研究時にも改訂しながら活用して下さい。

「研究発表」についての考察

優れた研究発表とは

劣った研究発表とは